

ペムブロリズマブ triweekly (MSI-High)

対象疾患	MSI-High固形癌
投与間隔	3週1コース

催吐リスク	最小度(催吐性)リスク
-------	-------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日												
							1	2	3	...	21								
RP.1		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	30分	○												
				インラインフィルター使用															
RP.2		生理食塩液	100mL	点滴静注	メイン	30分	○												
	○	キイトルーダ	400mg/body																
RP.3		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	全開	○												

<参考>最小度催吐性リスクに対応する標準的制吐療法

最小度催吐性リスクの注射抗がん薬に対する制吐療法					
	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
	抗がん薬投与前				
	通常予防的な制吐療法は推奨されない。				

- 制吐療法の一般的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。
- 各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値で示した。

ペムブロリズマブ 6週間隔(MSI-High)

対象疾患	MSI-High固形癌
投与間隔	6週1コース

催吐リスク	最小度(催吐性)リスク
-------	-------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日								
							1	2	3	...	42				
RP.1		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	30分	○								
				インラインフィルター使用											
RP.2		生理食塩液	100mL	点滴静注	メイン	30分	○								
	○	キイトルーダ	200mg/body												
RP.3		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	全開	○								

<参考>最小度催吐性リスクに対応する標準的制吐療法

最小度催吐性リスクの注射抗がん薬に対する制吐療法					
	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
	抗がん薬投与前				
	通常予防的な制吐療法は推奨されない。				

- 制吐療法の一般的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。
- 各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値で示した。